

# 光機能材料研究会 第65回講演会「光触媒に関するJIS/ISOの最新動向」

日時：2017年9月27日（水） 13：00～17：30（受付12：40） 「事前登録制」

場所：東京理科大学森戸記念館 地図：<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2（JR線「飯田橋」駅西口、東京メトロ有楽町線・南北線・東西線「飯田橋」駅）

参加費：非会員9,000円（当日現金払い）、会員（3名まで）無料、学生無料（予稿集別途）

予稿集：会報光触媒53号（受付にて配布）

申込先：光機能材料研究会事務局 FAX：04-7122-1742

〒278-8510 千葉県野田市山崎2-6-4-1 東京理科大学光触媒国際研究センター内

「開催にあたって」企業・大学・公的研究機関の関係者の方々に一堂に会していただき、光触媒JIS/ISOの最新動向についてご講演頂きます。

「プログラム」13:00 開会にあたって 光機能材料研究会会長 藤嶋 昭（東京理科大学学長）

## 13:05-13:35 光触媒材料試験方法標準化の最新動向

産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 竹内浩士氏

標準化開始から15年が経過し、JIS/ISOの試験方法はほぼ整備された。規格制定の歩みを振り返りつつ、国際連携、定期見直し（改正）、ISOの規則や国内標準化体制の変化等の状況を報告し、今後の課題を展望する。

## 13:35-14:05 欧州における標準化と産業界の動向

産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 竹内浩士氏  
欧州ではCEN/TC 386で標準化が検討されている。最近規格発行が相次ぎ、またEUプロジェクトも数多く実施されてきたが、近年の化学物質規制等により低迷感がある。光触媒団体や市場の動向も併せて報告する。

## 14:05-14:35 アジア各国との標準化連携

光触媒工業会 国際委員長 岡本誉士夫氏

光触媒工業会では設立から標準化を推進することが光触媒市場拡大の一要素と位置づけ、アジア各国と技術交流と光触媒効果の実証共同試験などを進めてきた。10年間にわたるアジア各国との連携について報告する。

## 14:45-15:15 国内外の実環境における可視光応答型光触媒の抗菌性実証試験

光触媒工業会 標準化委員長 三木慎一郎氏

実環境での効果を推定できる新たな光触媒抗菌性能試験法の開発につなげることを目的として、国内外の公共性の高い実験サイトにおいて実環境条件における光触媒抗菌性能を検証したので、その結果を報告する。

## 15:15-15:45 実環境を想定した可視光型光触媒の抗菌性試験法 ISO提案について

神奈川産業技術総合研究所 石黒 斉氏

試験室における抗菌効果と実環境における抗菌効果には違いがあることが明らかになってきた。そこで、本報告で実環境における抗菌効果を推定するための抗菌試験方法開発の取り組みについて紹介する。

## 15:55-16:25 可視光応答型光触媒製品の抗菌・抗ウイルス製品認証制度について

光触媒工業会 標準化委員長 三木慎一郎氏

光触媒工業会では、技術開発が進み、市場のニーズが高い可視光応答型光触媒製品の抗菌・抗ウイルス性能について、製品認証を2016年11月に開始した。その制度概要について、紹介する。

## 16:25-16:55 ISO/JIS光触媒活性試験光源のLED化に関する最新動向

東海大学 竹下 秀氏

照明用光源はLED化が進んでおり、一般消費者保護の観点から新しい光触媒試験光源の開発が要求されている。照明光源のLED化の現状・将来予想と、試験光源のJIS/ISO規格改訂に関する取り組みを紹介する。

## 16:55-17:25 溶存酸素測定による半導体光触媒材料の酸化活性測定法のISO提案

産業技術総合研究所 環境管理部門 平川 力氏

光触媒がフェノールを分解する際に消費した水中溶存酸素の濃度から、半導体光触媒材料の酸化力の活性を簡便に短時間で測定する試験法の概略とISO制定の経緯について紹介する。

## 17:25 閉会にあたって 光機能材料研究会事務局

「参加申込書」（予稿集作成の関係上申し込み締め切りは9月21日（木）とし当日受付はいたしません。なお、会場の定員になり次第締め切ります。受付確認のご返信はいたしませんのでご了承ください。直接会場にお越しいただければ幸いです。）

資格	<input type="checkbox"/> 非会員9千円	<input type="checkbox"/> 会員3名まで無料	<input type="checkbox"/> 学生無料（予稿集別途）
社名			
所属			
氏名（ふりがな）			
住所	〒		
FAX		TEL	
e-mail			

FAX：04-7122-1742（ご連絡なき欠席は、当会の持ち出しとなり、今後の当会の活動に支障をきたします。）